

第29回

'18選抜女子駅伝
北九州大会

- 期 日 / 2018年1月21日 (日)
- コース / 小倉北区・小倉城歴史の道—
八幡西区・長崎街道曲里の松並木前
折り返し 32.7km

一般の部 5 区間 高校の部 6 区間



女子駅伝北九州大会 TOTO



一般の部で初優勝のフィニッシュテープを切るTOTOのアンカー・中原海鈴

一般の部

地元 TOTO 悲願の初優勝

第1回から唯一連続出場している地元のTOTO（福岡）が悲願の初優勝を果たした。

1区の前之原瑠衣がトップのユニバーサルエンターテインメント（千葉）と2秒差の3位でタスキをつなぐと、2区のシュル・プロが区間賞の走りでトップに。2位に1分12秒の差を付け、3区・一紋野女、4区・黒田純菜、アンカーの中原海鈴も落ち着いた走りを披露、リードを守りきった。

連覇を狙ったユニバーサルエンターテインメントは中盤の遅れが響き、2位に終わった。3位は九電工（福岡）、4位にはキャノンAC九州（大分）が入った。

中原海鈴・TOTO 5区「高校生に負けたのはすごく悔しいが優勝に意味がある。上を目指していける自信がついた」

森政芳寿・TOTO監督「もう一回、体を万全にさせて飛躍させたい」

高校の部

「全国女王」大阪薫英女学院 堂々V3

大阪薫英女学院が1時間47分11秒で一般の部を上回り、全体のトップでフィニッシュして3連覇を果たした。高校チームが実業団チームよりも先着するのは、第24回大会（2013年）の立命館宇治（京都）以来、5大会ぶり2度目。

大阪薫英女学院は全体3番手でタスキを受けた3区の村尾彩香が3区過ぎにトップのTOTOの一を抜き去ると、4区以降も全員が区間1、2位と安定感のあるレース運びで独走した。

筑紫女学園（福岡）はアンカーの御崎舞が2人を抜いて準優勝。3位に西脇工（兵庫）、4位には世羅（広島）が入った。

竹内ひかり・大阪薫英女学院4区（主将）「頼もしい後輩たち。最後の駅伝で最高のレースだった」

安田功・大阪薫英女学院監督「（全国高校駅伝で連覇を逃し）ここまで頑張った3年生を、負けたまま卒業させてはいけなと思ってた」



高校の部で3連覇を達成した大分薫英女学院のアンカー・高田晴香